

## 2026 年度 技能訓練事業計画

2026 年 3 月 31 日現在  
公益財団法人日本船員雇用促進センター

当センターにおいては、船員の雇用の促進及び技能の向上を図るため、雇用船員(船員保険任意継続者を含む。)及び離職船員を対象に、技能訓練事業を行っている。

2026 年度においても、各訓練機関及び関係団体の要望、技能訓練事業実績等を踏まえ、次のとおり技能訓練事業を効率的かつ円滑に実施する。

ただし、来年度の国庫補助金が据え置かれる見込みの中、昨今の物価高の影響で各訓練機関の訓練費用が上昇したため、やむを得ず、海技士研修とタンカー研修等の募集定員を若干減らす方向としたい。

### 1. 船舶職員養成訓練及び海技免許講習

船舶職員に必要な海技士免許の取得のため、次の船舶職員養成訓練を実施する。

#### (1) 3 級海技士研修(航海科・機関科)

広島(8 月)及び下関(12 月)において 2 回実施する。受講期間は 45 日とし、1 回当たりの募集定員は航海科・機関科各 10 名とする。

#### (2) 4～5 級海技士研修(航海科・機関科)

気仙沼(4 月)、下関(6 月)、尾道(7 月)、三角(9 月)、西海(9 月)及び広島(1 月)において 6 回実施する。受講期間は 45 日とし、1 回当たりの募集定員は、気仙沼は航海科・機関科各 20 名、その他は航海科・機関科各 15 名とする。なお、尾道については 4 級と 5 級をクラス分けし、受講期間は 4 級を 30 日、5 級を 25 日として実施する。

#### (3) 6 級海技士研修(航海科・機関科)

三角(8 月)、広島(11 月)及び下関(1 月)において 3 回実施する。受講期間は 10 日とし、1 回当たりの募集定員は航海科・機関科各 15 名とする。

また、尾道(7 月)において機関科第一種養成講習を 1 回実施し、受講期間は 4.5 ヶ月、募集定員は 24 名とする。

#### (4) 海技免許講習(航海科・機関科)

船舶職員養成訓練受講者に対し、海技士免許取得に必要な海技免許講習(上級航海英語、上級機関英語、救命、消火、航海英語、機関英語、レーダー観測者及びレーダー-ARPA シミュレータ)を実施する。

### 2. ECDIS シミュレータ訓練(航海科)

芦屋及び深江において 12 回実施する。1 回当たりの募集定員は 5 名とする。

### 3. タンカー研修(航海科・機関科)

船員法に規定するタンカー等への乗組みに必要な危険物等取扱責任者資格、安全担当者資格取得のための研修を横須賀において 7 回実施する。1 回当たりの募集定員は 13 名とする。

#### 4. 無線関係講習

海上において無線局の無線設備の操作を行うために必要な資格を取得するため、次の無線関係講習を実施する。

(1) **第3級海上無線通信士**

東京(5月及び10月)において2回実施する。1回当たりの募集定員は20名とする。

(2) **第1級海上特殊無線技士**

気仙沼(6月)、三角(7月)、広島(10月)及び下関(2月)において4回実施する。1回当たりの募集定員は、気仙沼は30名、三角は20名、広島及び下関は25名とする。

(3) **船舶局無線従事者証明新規訓練**

東京(8月)及び気仙沼(11月)において2回実施する。1回当たりの募集定員は20名とする。

#### 5. STCW 条約基本訓練講習

生存技術及び防火・消火訓練を北九州(6月、9月)、横須賀(7月、9月)及び尼崎・芦屋(12月、2月)において実施する。1回当たりの募集定員は、横須賀は12名、尼崎・芦屋と北九州は5名とし、計6回実施する。

## 2026年度 技能訓練開催予定

2026年3月31日現在

## 1. 船舶職員養成訓練及び海技免許講習

受講資格者：雇用船員、船員保険任意継続者及び離職船員  
本講習に続き、海技免許講習を実施。海技免許講習のみの受講は不可。

## (1) 3級海技士研修

回	開催地	開催場所	募集定員	日 程
1	広 島	広島海技学院	航海科 10名/回 機関科 10名/回	本講習 08/13～10/17 海技免許講習 (上級英語) (上級英語以外)
				09/14～09/25 10/29～11/05
2	下 関	関門海技協会		本講習 12/03～02/03 海技免許講習 (上級英語) (上級英語以外)
				02/10～02/21 03/16～03/27

海技免許講習科目：救命、消火、レーダー観測者、レーダーARPAシミュレータ、上級英語（航海・機関）

## (2) 4～5級海技士研修

回	開催地	開催場所	募集定員	日 程
1	気仙沼	気仙沼市水産振興協会	航海科 20名/回 機関科 20名/回	本講習 04/09～06/01 海技免許講習
				06/08～06/28
2	下 関	関門海技協会		本講習 06/04～07/29 海技免許講習
				08/10～08/29
3	尾 道	尾道海技学院		本講習 07/28～08/31 海技免許講習
				09/05～09/14
4	三 角	九州海技学院	航海科 15名/回 機関科 15名/回	本講習 09/16～11/09 海技免許講習
				11/14～12/01
5	西 海	愛媛県愛南町		本講習 09/24～11/20 海技免許講習
				12/01～12/15
6	広 島	広島海技学院		本講習 01/08～03/01 海技免許講習
				03/07～03/24

海技免許講習科目：救命、消火、レーダー観測者、レーダーARPAシミュレータ、航海英語、機関英語

西海については、消火と英語は西海で、救命、レーダー観測者、レーダーARPAシミュレータは尾道海技学院で実施

## (3) 6級海技士研修

回	開催地	開催場所	募集定員	日 程
1	三 角	九州海技学院	航海科 15名/回 機関科 15名/回	本講習 08/20～08/31 海技免許講習
				09/02～09/07
2	広 島	広島海技学院		本講習 11/14～11/24 海技免許講習
				11/06～11/11
3	下 関	関門海技協会		本講習 01/21～01/29 海技免許講習
				02/02～02/07
1	尾 道	尾道海技学院	機関科 24名 (第一種養成講習)	本講習 07/23～12/22 海技免許講習
				10/07～10/09

海技免許講習科目：救命、消火、レーダー観測者

広島については、本講習の前に実施

## 2. ECDISシミュレータ訓練

受講資格者：雇用船員、船員保険任意継続者及び離職船員で、海技免状（航海）受有者

回	開催地	開催場所	募集定員	機器メーカー	日 程
1	深 江	日本海洋科学	航海科 5名/回	古野電気 ★	06/08～06/12
2	芦 屋	海技大学校	航海科 5名/回	日本無線	06/22～06/26
3	深 江	日本海洋科学	航海科 5名/回	古野電気 ★	07/06～07/10
4	芦 屋	海技大学校	航海科 5名/回	日本無線	07/13～07/17
5	芦 屋	海技大学校	航海科 5名/回	日本無線	08/03～08/07
6	深 江	日本海洋科学	航海科 5名/回	古野電気 ★	08/17～08/21
7	芦 屋	海技大学校	航海科 5名/回	日本無線	09/07～09/11
8	芦 屋	海技大学校	航海科 5名/回	日本無線	10/05～10/09
9	深 江	日本海洋科学	航海科 5名/回	古野電気 ★	11/09～11/13
10	深 江	日本海洋科学	航海科 5名/回	古野電気 ★	12/14～12/18
11	芦 屋	海技大学校	航海科 5名/回	日本無線	02/01～02/05
12	芦 屋	海技大学校	航海科 5名/回	日本無線	03/01～03/05

★は古野電気、東京計器、日本無線から選択

### 3. タンカー研修

受講資格者：雇用船員、船員保険任意継続者及び離職船員

回	開催地	開催場所	募集定員	コース	日程
1	横須賀	海上災害防止センター	13名/回	標準コース	06/29～07/03
2					07/27～07/31
3					08/31～09/04
4					10/05～10/09
5					11/09～11/13
6					12/07～12/11
7					01/18～01/22

### 4. 無線関係講習

#### (1) 第3級海上無線通信士

受講資格者：雇用船員及び船員保険任意継続者

回	開催地	開催場所	募集定員	日程
1	東京	日本無線協会	20名/回	05/19～06/05
2				10/14～10/30

#### (2) 第1級海上特殊無線技士

受講資格者：雇用船員、船員保険任意継続者及び離職船員

回	開催地	開催場所	募集定員	日程
1	気仙沼	気仙沼市水産振興協会	30名/回	06/22～06/30
2	三角	九州海技学院	20名/回	07/29～08/04
3	広島	広島海技学院	25名/回	10/21～10/27
4	下関	関門海技協会		02/22～02/27

#### (3) 船舶局無線従事者証明新規訓練

受講資格者：雇用船員、船員保険任意継続者及び離職船員

回	開催地	開催場所	募集定員	日程
1	東京	日本無線協会	20名/回	08/04～08/06
2	気仙沼	気仙沼市水産振興協会		11/13～11/15

### 5. STCW条約基本訓練講習

受講資格者：雇用船員

回	開催地	開催場所	募集定員	日程
1	北九州	日本サバイバルトレーニングセンター	5名/回	06/09～06/10
2	横須賀	海上災害防止センター	12名/回	07/08～07/09
3	北九州	日本サバイバルトレーニングセンター	5名/回	09/15～09/16
4	横須賀	海上災害防止センター	12名/回	09/16～09/17
5	尼崎・芦屋	海技大学校	5名/回	12/15～12/16
6	尼崎・芦屋	海技大学校	5名/回	02/16～02/17

- 備考 (1) 受講料無料。ただし、宿泊費、食費、教材費、事務費等の諸経費は自己負担。  
 (2) 訓練の詳細は別途「募集案内」をご参照。  
 (3) 応募者が僅少の場合は中止の可能性あり。  
 (4) 開催地・日程等は、状況により変更又は中止する可能性あり。

## 2026年度 海技免許講習開催予定

2026年3月31日現在

## 1. 目的

3～6級海技士免許取得のための海技免許講習

## 2. 受講資格者

同時に実施される海技士研修(3～6級)の受講者に限る。

## 3. 申込の方法

海技士研修(3～6級)と同時の申込とする。

## 4. 講習日程表

開催地・日程等は、状況により変更又は中止することがある。

## (1) 3級海技士研修向け

回	開催地	救命 (2日)	消火 (1日)	上級航海英語 (11日)	上級機関英語 (9日)	レーダー観測者 (3日)	レーダーARPA (2日)
1	広島	11/2-3	11/1	9/14-25	9/14-23	10/29-31	11/4-5
2	下関	3/16-17	3/18	2/10-21	2/11-20	3/19-21	3/24-25、26/27

(注) 4～5級海技免許受有者は、上級航海英語・上級機関英語講習を2日間短縮できます。

## (2) 4～5級海技士研修向け

回	開催地	救命 (2日)	消火 (1日)	航海英語 (2日)	機関英語 (2日)	レーダー観測者 (3日)	レーダーARPA (2日)
1	気仙沼	6/8-9	6/10	6/11-12	6/11-12	6/14-16	6/20-21、 6/27-28
2	下関	8/11-12、18-19	8/10、17	8/13-14、28-29	8/13-14	8/20-22	8/15-16、24-25、 26-27
3	尾道	9/5-6	9/7	9/11-12	9/8-9	9/8-10	9/13-14
4	三角	11/18-19	11/17	11/20-21	11/20-21	11/14-16	11/24-25、 11/30-12/1
5	西海		12/3	12/1-2	12/1-2		
	尾道	12/5-6				12/7-9	12/10-11、12-13、 14-15
6	広島	3/8-9、 3/15-16	3/7、3/14	3/10-11、 3/17-18	3/10-11、 3/17-18	3/12-14、 3/19-21	3/15-16、 3/23-24

## (3) 6級海技士研修向け

回	開催地	救命 (2日)	消火 (1日)	レーダー観測者 (3日)	
1	三角	9/2-3	9/4	9/5-7	
2	広島	11/9-10	11/11	11/6-8	※本講習の前に実施
3	下関	2/2-3、2/2・4	2/3、2/4	2/5-7	
1	尾道	10/7-8	10/9		※第一種養成(機関科のみ)

## 2026年度 技能訓練実施計画

(2026年3月31日現在)

1. 船舶職員養成訓練	2. 海技免許講習	3. ECDISシミュレータ訓練	5. 無線関係講習
<p><b>(1) 3級海技士研修&lt;45日間&gt;</b> (航海科・機関科)</p> <p>① 08/13～10/17 広島 ② 12/03～02/03 下関</p> <p>(注) 3級海技士の免許取得には、2. (1)の海技免許講習修了が必要</p> <p><b>(2) 4～5級海技士研修&lt;45日間&gt;</b> (航海科・機関科)</p> <p>① 04/09～06/01 気仙沼 ② 06/04～07/29 下関 ③ 07/28～08/31 尾道※ ④ 09/16～11/09 三角 ⑤ 09/24～11/20 西海 ⑥ 01/08～03/01 広島 ※尾道は4級は7/28から30日間、5級は8/3から25日間</p> <p>(注) 4～5級海技士の免許取得には、2. (2)の海技免許講習修了が必要</p> <p><b>(3) 6級海技士研修</b> (航海科・機関科)</p> <p>① 08/20～08/31 三角 ② 11/14～11/24 広島 ③ 01/21～01/29 下関</p> <p>(機関科) ※第一種養成講習</p> <p>① 07/23～12/22 尾道</p> <p>(注) 6級海技士の免許取得には、2. (3)の海技免許講習修了が必要</p>	<p><b>(1) 3級海技士研修向け</b> (航海科・機関科)</p> <p>① 上級航海英語 09/14～09/25 上級機関英語 09/14～09/23 その他 10/29～11/05 広島</p> <p>② 上級航海英語 02/10～02/21 上級機関英語 02/11～02/20 その他 03/16～03/27 下関</p> <p>(注) 1. (1)の3級海技士研修受講者が受講可能 (注) 4～5級海技士の免許受有者は、上級英語の講習期間を2日間短縮可能</p> <p><b>(2) 4～5級海技士研修向け</b> (航海科・機関科)</p> <p>① 06/08～06/28 気仙沼 ② 08/10～08/29 下関 ③ 09/05～09/14 尾道 ④ 11/14～12/01 三角 ⑤ 12/01～12/15 西海 ⑥ 03/07～03/24 広島</p> <p>(注) 1. (2)の4～5級海技士研修受講者が受講可能</p> <p><b>(3) 6級海技士研修向け</b> (航海科・機関科)</p> <p>① 09/02～09/07 三角 ② 11/06～11/11 広島※ ③ 02/02～02/07 下関</p> <p>※広島は本講習の前に実施 (機関科)</p> <p>① 10/07～10/09 尾道</p> <p>(注) 1. (3)の6級海技士研修受講者が受講可能</p>	<p><b>登録電子海図情報表示装置講習</b></p> <p>① 06/08～06/12 深江 (使用機器メーカー：古野電気/東京計器/日本無線)</p> <p>② 06/22～06/26 芦屋 (使用機器メーカー：日本無線)</p> <p>③ 07/06～07/10 深江 (使用機器メーカー：古野電気/東京計器/日本無線)</p> <p>④ 07/13～07/17 芦屋 (使用機器メーカー：日本無線)</p> <p>⑤ 08/03～08/07 芦屋 (使用機器メーカー：日本無線)</p> <p>⑥ 08/17～08/21 深江 (使用機器メーカー：古野電気/東京計器/日本無線)</p> <p>⑦ 09/07～09/11 芦屋 (使用機器メーカー：日本無線)</p> <p>⑧ 10/05～10/09 芦屋 (使用機器メーカー：日本無線)</p> <p>⑨ 11/09～11/13 深江 (使用機器メーカー：古野電気/東京計器/日本無線)</p> <p>⑩ 12/14～12/18 深江 (使用機器メーカー：古野電気/東京計器/日本無線)</p> <p>⑪ 02/01～02/05 芦屋 (使用機器メーカー：日本無線)</p> <p>⑫ 03/01～03/05 芦屋 (使用機器メーカー：日本無線)</p> <p>(注) 使用機器メーカーのオペレーションモデル名は「募集案内」に別掲。</p> <p><b>4. タンカー研修</b></p> <p><b>海上防災訓練標準コース(5日間)</b></p> <p>① 06/29～07/03 横須賀 ② 07/27～07/31 横須賀 ③ 08/31～09/04 横須賀 ④ 10/05～10/09 横須賀 ⑤ 11/09～11/13 横須賀 ⑥ 12/07～12/11 横須賀 ⑦ 01/18～01/22 横須賀</p>	<p><b>(1) 第3級海上無線通信士</b> (船舶局無線従事者証明新規訓練を含む)</p> <p>① 05/19～06/05 東京 ② 10/14～10/30 東京</p> <p>(注) 雇用船員、船員保険任意継続者が受講対象</p> <p><b>(2) 第1級海上特殊無線技士</b></p> <p>① 06/22～06/30 気仙沼 ② 07/29～08/04 三角 ③ 10/21～10/27 広島 ④ 02/22～02/27 下関</p> <p><b>(3) 船舶局無線従事者証明新規訓練</b></p> <p>① 08/04～08/06 東京 ② 11/13～11/15 気仙沼</p>
			<p><b>6. STCW条約基本訓練講習</b></p> <p>① 06/09～06/10 北九州 ② 07/08～07/09 横須賀 ③ 09/15～09/16 北九州 ④ 09/16～09/17 横須賀 ⑤ 12/15～12/16 尼崎・芦屋 ⑥ 02/16～02/17 尼崎・芦屋</p> <p>(注) 雇用船員が受講対象</p>
<p>(注) (1) 雇用船員、船員保険任意継続者、離職船員が無料で受講可能 (2) 訓練の詳細は、別途「募集案内」をご参照 (3) 応募者が僅少の場合は中止する可能性あり (4) 開催・日程や開催地等は、状況により中止又は変更する可能性あり</p>			